柏崎市 第二次スクリーニングのまとめ

		ーニングのまとめ 第一次スクリーニング														第二次スクリーニング結果																	
																				第一次ペンソ ^ー ーノソ									+ 45	哲•	7		
No.	盛土	E# 1 \#	出出へ上	3 # 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	大規模盛土造成地の抽出							優先度評価										その他				土質・ 地下水調査			安定計算				
	造成地の 位置	盛土造成地の規模			谷埋 め型	腹付け型	現地確			①盛=	①盛土および擁壁の形状と構造				②宅地地盤・擁壁・法面の変状						⑤造 年1		⑥変動 確率		1	保全対象					地震時安全率		
盛土番号	所在地	面積(㎡)	原地盤勾配(度)α	高 や (m)	面積3,000㎡	かつ高さ 5 m以上 現地盤面の勾配20度以上	必要性	の. 種 舞 黒	造成	上	面 保護	増部分の	壁 構		宅地地盤		去の他		③ 地 下 水	④盛土下の土層状態	造成年代	基準年(S50)より	方式1/方式2/数量化	特記事項	度写	上 55 m 女	査結	想定被害形態	調査 ボーリング データナン バー	最高地 下 水位 (GL- m)	全体 すべり (最小値)	#改音节)	
柏崎市 0028	大字鯨波 鯨波二丁目	30,682	3.3	4.0 (○ 30,682㎡)	-	不要	_		急 (0.8)	不適(未処理)	適	適 (Co造	非該当	無	有 :	# ##	有	有(水抜き穴)	有(沖積層)	S 4 7 5 9		1.4 / 97.3 / 84.0	河川周辺の沖積層平坦部面に1~4m程度の厚さで盛土されている。 調査地の南西部の宅地は周辺部を擁壁で囲われており、擁壁高は1~4mで北西部の角で最 も高い。この擁壁には沈下によると思われる目地部のコンクリートの破損、突出部の段 差、水路工からの湧水等、多くの箇所で変状が見られ、また盛土内のひな壇擁壁にも不等 沈下と思われる変状が認められる。 この地区は河川の出水は上方ダムの放流により、擁壁を超える水位まで上昇することが多 生している。盛土の一部が拡幅されており、4mののり面は盛こぼし状態で標準勾配とな ていない。 地下水は擁壁部から出水が認められるように、盛土内に存在していると考えられる。全位 的には擁壁がやや不安定であると考えられる。盛土が急な箇所には現在宅地はない。	手 A1 2	国道8号、前川	女 無 :	盛土のり面の崩壊難壁傾動転倒	BVK6-1 BVK6-2		2.713 -	盛土及び盛土下部の軟弱な砂質土層をとおるすべりを各断面 に1~3まで想定し、安定計算を実施した結果、常時及び地震 時の目標安全率1.0を満足した。 従って、当該盛土は崩落の可能性が小さいと判断される。	
柏崎市 0035	朝日が丘	7,138	4.5	8.8	○ (7,138㎡)	-	不要	-	谷埋め	適 適	適	適	適 (Co造		有	有:	# #	有	有(水抜き穴)	有(沖積層)	S 4 2 5 S 4 7	前	5.5 / 74.9 大 / 95	沢を埋める盛土構造であり、末端は高さ1m程度のプロック積擁壁である。盛土内には 高さ3m以下の重力式擁壁、プロック積擁壁、増積擁壁が施工され、プロック積擁壁と増 擁壁に縦亀裂および前傾が確認される。 宅地地盤のコンクリートや道路舗装にクラックが認められるが、変状が拡大しても宅地へ の影響はない。	A4 2	8 無	無	り面	BVA6-1 BVA6-2		1.722 -	盛土及び盛土下部の軟弱な粘性土層をとおるすべりを各断面に1~3まで想定し、安定計算を実施した結果、常時及び地震時の目標安全率1.0を満足した。 従って、当該盛土は崩落の可能性が小さいと判断される。	
柏崎市 0042	向陽町	9,962	8.8	7.5	○ (9,962㎡)	-	不要	_	谷埋め型	適適適	適	適	適 (Co造		有	有 :	# #	. 有	有(法尻)	有(沖積層)	S 5 8		0.7 / 47.5 / 80	沢を埋める盛土構造であり、末端は高さ5m程度の小段を有する勾配1:1.7ののり面である。また、末端側面は高さ3~3.5mのプロック積擁壁である。 宅地地盤のコンクリートや道路舗装にクラックが認められるが、変状が拡大しても宅地の影響はない。 地下水はのり尻に褐色のしみ出しが確認される。		軽 # 川	無	の滑	BVR5-1 BVR5-2		1.297 -	盛土及び盛土下部の軟弱な旧表土・粘性土層をとおるすべりを各断面に1~3まで想定し、安定計算を実施した結果、常時及び地震時の目標安全率1.0を満足した。 従って、当該盛土は崩落の可能性が小さいと判断される。	
柏崎市 0043	向陽町	6,798	8.6	8.9	○ (6,798㎡)	-	不要	_	谷埋め型	適適適	適	適	適(練積)		有	有 :	ж я	· 有	有(法尻)	有(沖積層)	S 5 8	後	0.7 / 47.5 大 / 81	沢を埋める盛土構造であり、末端は高さ4.5m程度の小段を有する勾配1:2.0ののり面でる。また、末端側面は高さ5mのブロック積強壁である。 宅地地盤のコンクリートや道路舗装にクラックが認められるが、変状が拡大しても宅地への影響はない。 地下水はのり尻に褐色のしみ出しが確認される。また、のり面にも湿りが確認される。		0 無	無	盛土内の滑動崩壊	BVR5-3	1.72	1.043 -	盛土及び盛土下部の軟弱な旧表土・粘性土層をとおるすべりを各断面に1~3まで想定し、安定計算を実施した結果、常時及び地震時の目標安全率1.0を満足した。 従って、当該盛土は崩落の可能性が小さいと判断される。	
柏崎市 0044	向陽町	20,541	5.3	13.5 (○ 20,541㎡)	-	不要	-	谷埋め型	適適適	適	適	適 (Co造		有	有 :	有(道路に角器)	有	有(法尻)	有(沖積層)	S 5 8	後	1.7 / 64.2 大 / 85	沢を埋める盛土構造であり、盛土中腹から下方にかけては調整池が設置されている。末崎 は高さ5m程度の小段を有する勾配1:2.5ののり面である。また、末端部は耕作地である。 宅地地盤のコンクリートや道路舗装にクラック、末端部側面のブロック積練壁に水平押出 しが認められるが、変状が拡大しても宅地への影響はない。 地下水はのり尻に設置された法止め工は沈下し水没しており、降水時に盛土内の地下水が 上昇する可能性がある。	H A4 5	軽 # 川		盛土内の滑動崩壊	KO-B-1	0.35	1.074 -	複合すべり1ケース(盛土と旧地表の境界)と円弧すべり面を設定し、安定解析を実施した結果、いずれのすべり面でも常時及び地震時の目標安全率1.0を満足した。 従って、当該盛土は崩落の可能性が小さいと判断される。	
柏崎市 0047	大字上田尻	3,662	2.1	5.9	○ (3,662㎡)	-	不要	-	谷埋め	適適適	適	急 (6°)	適) (Co造	= 2/	有	有:	# #	毛 有	有(水抜き穴)	有(沖積層)	S 5 2	後	0.4 / 82.2 大 / 85	盛土は高さ5mのL型擁壁にて囲まれている。L型擁壁には縦亀裂やコーナーでの欠損、直傾が確認され前傾箇所前面には高さ1.2m程度の補強土壁と1:1.5ののり面による押さえた土が施されている。 宅地のコンクリートに亀裂が確認され、補修されている。 地下水についてL型擁壁の水抜き穴および縦亀裂箇所から常時出水が確認され盛土内の水位は高いものと推定される。	盛 A1	3 無		による擁壁倒壊	KA-B-1	0.44	1.282 -	円弧すべり面を設定し、安定解析を実施した結果、常時及び 地震時の目標安全率1.0を満足した。 従って、当該盛土は崩落の可能性が小さいと判断される。な お、補強土壁の性能を考慮し、擁壁はすべらないと想定し た。	